

# 新型インフルエンザについて 第三報

2009.7.23

余市医師会 理事 小嶋研一

会長 永井文作

新型インフルエンザは7月22日現在、全国で約4000人の感染者を認めております。北海道でも125人の感染者が札幌や旭川方面を中心に認められておりますが、余市を含め後志管内での発生報告はまだありません。感染者は10～30歳代の若い方々に多い傾向があります。地域での爆発的な流行は認めてはおりませんが、今後余市を含めた近隣町村からの発生は時間の問題です。

これまでの経験からは、新型インフルエンザの毒性は弱毒性で症状や経過は通常の季節型インフルエンザと同様と考えられます。重症化した方はまだ我が国では報告されておられません。

38度以上の発熱、咽頭痛、咳などの症状がある場合、マスク着用の上最寄りの医療機関に受診して下さい。

新型のインフルエンザと診断されても重症化の傾向が認められない場合は、抗インフルエンザ薬を処方され、自宅療養となります。

新型インフルエンザに感染した場合は、解熱後も2、3日は自宅で待機して下さい。マスク着用は忘れずにお願いいたします。

詳しくは下記発熱相談センターや最寄りの医療機関にてご相談ください。

倶知安保健所発熱相談センター0136-23-1951